

まちの話題

話題のニュースやイベントなどを紹介！

お相撲さんとはっけよーい！

市出身の力士・勇磨猛さんらが園児と交流



阿武松部屋の阿武咲関と市出身の勇磨猛さんら4人が市内保育園8園の園児と交流しました。大阪場所の開催に合わせ実現したもので、3月29日には勇磨さん出身の天の川保育園を訪問。園児

と一緒に四股を踏んだり、質問コーナーをしたり楽しみました。園児4～5人が一組となって実際に取り組みも行い、枠外に力士を押し出すと会場からは大きな歓声や拍手が。勇磨さんは「子どもたちから元気をもらいました。僕の活躍で地元を盛り上げられれば」と話しました。

友好の声援、甲子園に響く

初出場の別海高校を市民約500人が応援



3月20日、春の選抜高校野球大会に出場した友好都市・北海道別海町の別海高校を応援するため、枚方市民約500人が球場を訪れました。上野在住の中野慧人さん（15歳・写真左下）は同町と市の交流イベントを通じて知り合った同高2年の大野選手へエールを送るために家族と球場へ。アルプススタンドで声を張り上げ応援し、試合後「僕も春から高校球児になる。憧れの甲子園に出ているのを見て、友人が目標になった」と笑顔で話しました。

違いを知って新たな学びを

東香里小児童が仮想空間で国際交流



3月19日、東香里小学校でカンボジアの学校とインターネット上の仮想空間で交流する授業が行われました。4年生の総合的な学習の時間の一環で、「まちの未来」をテーマに描いた絵を仮想空間に展示し、アバター（右写真）で交流しながら作品を鑑賞。カンボジアの子どもたちが描いた絵を見た児童は「道路の絵がたくさんある」と日本では当たり前風景に驚く様子も。担任の磯西重行さんは「文化の違いを知ることで新しい学びを得るきっかけになれば」と話しました。

劇で伝える 子どもたちのSOS

「子ども食堂」テーマに小学生が熱演



3月31日、牧野生涯学習市民センターで子ども食堂が題材の創作劇「子ども食堂物語」を小学生らが演じました。子ども食堂団体「みんなで作る学校 とれぶりんか」が活動を通じて直面した子どもたちのさまざまな困難を伝えようと企画。劇中では子ども食堂を訪れた不登校の少年が、交流の中で心を開く様子が描かれました。息子が出演したという畑玲伊さんは「周囲との違いを子どもは特に敏感に感じると思う。子どもの笑顔があふれる社会になれば」と話しました。

↓ほかの話題はこちらでチェック！



市公式フェイスブック

「マイカタちゃいます、ひらかたです。」



市公式 X

「こちら、枚方市です！」



市公式Instagram

「i_am_in_hirakata」



市公式LINE

「枚方市」

